

センター
便り

絆
きずな

第196号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者: 南大路 文子
編集責任: 土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

「知ることに」から始まる隣人愛

理事長 南大路 文子

ある同窓会のできごとです。なつかしい学び舎の教室に二十名ほどの卒業生が集まっています。幹事のAさんが、和やかな雰囲気を出すと、自らギターを弾き友人二人と一緒に青春時代に流行った歌を歌っています。そこに少し遅れて入ってきたBさんを仲の良かったCさんが手招きし、二人はひそひそと話し始めます。その声は時々周りに届くほどの大きさに

なり、演奏していたAさんたちや熱心に聴いている人たちがちよつと気にし始めました。Aさんは思いました。「しゃべりたいなら外に出ればいいのに。これはマナー違反じゃないかな」と。けれども後日、Aさんは、やはり出席していたDさんに愚痴をこぼしたところ、Dさんから思いがけない話を聞いて一気に気持ちよると、Bさんはここ数年

自分の健康問題や家族に不幸が続いたことでも辛い日々を過ごしていたのですが、思い切つて同窓会に出席し気持ちを立て直そうとしたのだそうです。そしてCさんが昔と変わらないやさしさで迎えてくれたので、堰を切つたように辛い出来事を吐き出したのです。Dさんから事情を聞いたAさんは、BさんとCさんがマナーを無視したと感じて、気分を害したことを

反省しました。大変な時にもかかわらず同窓会に来てくれたことを幹事として喜ぶべきだったと。そして事情が分かったことでAさんの気持ちは晴れました。BさんとCさんの行為がマナーにはずれることに変わりはありませんが、そのわけを知るだけでAさんの気持ちが変わつたのです。Aさんの場合と同じように、他者の言動の背景にある事情や理由を知ること、赦したり歩み寄つたりできることが結構あるのではないのでしょうか。

私は芥川賞作家の市川沙央さんが、「読書バリアフリー」について語られるのを動画配信で聴きました。

彼女の話を聞いて、本の重さに耐えられない身体状態や、距離や交通手段の問題があるため書店や図書館にアクセスできないことまで、読みたい書物をいつでも自由に読むことを妨げるバリアがまだまだたくさんあることに気づかされました。市川さんは、オーディオブックが読書にたいするバリアを取り除く有効な手段であると語り、その充実を訴えておられました。私はそれまでオーディオブックがながら読書に便利だというくらいに認識しかなく、ましてや自作をオーディオ化するのに消極的な作家がかなりおられることなど全く知りませんでした。私は市川さんのお話を聞いて、オーディオブックの普及が読書の自由を担保しそれを読む（聴く）人の心を解放つ力を持つてい

ることを理解できるようになり、もっとこの問題に関心を寄せなくてはと思いましたが、人は、自分に関心がなかったり必要でなかったりすると、知ろうとする努力を怠りがちであり、気づく機会を逃してしまうものです。「知ること」「気づくこと」は他者との摩擦を避けるために大切なことです。時に怒りや不安を和らげ、他者への理解を助けることもあります。一方、知らないが故に疎外感、不愉快、時には怒りを覚えることが多々あります。無知や無自覚は、理解を遠ざけ意思疎通を阻み、相互不信や差別を助長し格差を拡大し、生き辛さを押しつけ、軋轢や亀裂や断絶を生みま

するものや抱えている困難を知り、気づき、関心を寄せ、認めて尊重することから始めればいいのではないかと思うのです。先号で、監事の村井喜治さんが「隣人を愛することによって平和は確立されるのか」、「隣人を愛することによって正義は確立されるのか」と問を投げかけられました。村井さんの挙げられた深刻な問題が山積するこの世界を見れば、到底実現できないとあきらめたくありません。けれども、ウクライナで、ガザで、その他様々な場所で傷つき絶望と憎悪の中に置き去りにされる人たちの姿や、無残に破壊された集落を映像で見るたびに、たとえ一人ひとり非力であつても平和と正義のためにできることをしなくてはならないと思うのです。そして西陣会の活動がその一環であり続けることを願つてやみません。



良いにおい♡ 炭焼き肉でお迎え



バンバンジー屋も腕を振るう



学童っ子のダンス「つばめ」



パペット漫才



熱演！くろこ



まってきました！のど自慢大会



ビンゴ大会は熱気ムンムン

地域生活支援ニュース

西陣会居宅サービス係

新年の抱負

福田 英司

新年あけましておめでと
うございます。

稿書かせて頂きます。

今年もそうなのですが、

西陣会居宅サービス係の
福田と言います。初めて原

稿書かせて頂きます。
プライベートでも仕事でも
こころがけることがあ

ります。それは

「楽しく」とい

うことです。楽

しいという言葉

の他の使われ方

は「楽（らく）」

という意味があ

ります。楽しい

＝らくになる状

態だと言われて

います。居宅

サービスという

仕事はいかにご

利用者の方に楽

しんでもらうか

イケメン4人衆 in 鴨川



が大事だと考えています。

その中で特に大事なものは

食事だと思えます。平日は

仕事を終えられご家庭で過

ごされる方、グループホー

ムで過ごされる方など様々

ですが、お休みの日に少し

ご褒美もこめて外食するこ

とを楽しみにされている方

は多いのではないでしょう

か？そういった時の食事

(外食)の楽しみは笑顔や

言語から伝わってきます。

緊張からはなたれて「楽」

になるひとときだと感じて

おります。

日常生活を送っていると

緊張と緩和の連続です。そ

の緩和の部分を、一緒に好

きを見つけていくことで手

助けができればいいなと考

えています。

プライベートでも新たな

楽しみを一つでも見つけて

なものについて考えた時に

温泉や銭湯があります。サ

ウナで汗をかいたり露天風

呂にじっくりつかりなが

ら、何も考えずに過ごすこ

とが至福のひとつです。

身体を温めた後、外気温に

あたり身体を冷やすのも

とても心地良さを感じます。

好きが高じて「温泉ソムリ

エ」という資格にも興味が

わいてきました。水の泉質

や最適な入浴法等を勉強し

て趣味に彩りをつけられた

らなと思っています。好き

なものに対しての探究心は

皆さんあると思います。好

きや趣味が高じて成功した

ケースもたくさんありま

す。二〇二四年、さらにもっ

ともっと皆様と一緒に好き

を探して生活に彩りをつけ

ていきたいと思えます。今

年もよろしく願っています。

繋がるとうゆうこと

デイセンターからつと

看護師 田 端 恵美子

安でもありました。医療従

事者・福祉に従事するとい

うことは、日々神経を張り

詰めながらの業務に何人も

のスタッフが現場から離れ

ていく現実が今までにもあ

りました。

西陣会にご縁を頂き早い

もので五年目に入ろうとし

ています。病棟・有料老

人ホームの看護師経験を経

て知的障害がある方の通所

施設での仕事の従事は初め



宝ヶ池

時、ご利用者さんは勿論のことスタッフのメンタルケアや身体の相談にのる仕事に従事したいとお伝えしました。

そういうしながら、自分自身が壁を作っていないか？与えられた仕事をこなせているのか振り返る日々です。コロナ禍を抜けて人とあうこともままならない時期を経験し人の繋がりの大切さを痛感しました。ウイルスの変異、災害はまだこれからも続いて行くことと思

います。何があっても一人ではない繋がりがあれば乗り越えていける。西陣会の繋がりが希望となるようにこれからも大切にしたいと思っています。

京都の街は四方を山に囲まれ、鴨川桂川など水が豊かで自然にと満たされた癒しの地でもあると思います。肩の力を抜いて自然の中で深呼吸して自身を解放し、免疫力を挙げる生活を送りながら日々の仕事に向かいたいと思います。

地域活動支援センターふらっと

外食活動いいな

松井美穂

地域活動支援センターふらっと（以下、地活）では、次月の活動内容をメンバーと話し合っ

て決めていきます。コロナの時は、外食なしで……とお伝えしていましたが、皆さんの気持ちは行きたいよう

で何度も外食活動が出ていきました。それがやっ

つと、外食に行けることに！それを伝えた時、皆さん嬉し

そうで、私もワクワクしていました。

いざ、行くとなれば予約をする必要がありました。久しぶりに行く居酒屋一揆に電話をしてみ

ると、ふらっとさんです

ねと、覚えて下さっているよう



みんなで乾杯?!

コロナ禍の時は、本当にいろんなことに気をつけながら、できないことの方が多く、休ませざるをえないこともありましたが、これからは通常通りに戻って行くと思います。この地活らしい活動を続けて行くために、気をつけるところはありますが、皆さんと一緒に何かできる喜びを感じて行きたいです。

また、地域の方にも私たちの活動を知ってもらう機会にもなる外出はこれからも続けていきたいです。

支援センター「きりりんく」

感謝

相談員 箕浦 佐知子

昨年秋に、長く担当させて頂いていたご利用者が天国へ旅立たれました。

数年前より、やがてはこの日が来ることを、ご本人も知っておられました。淡々としておられました。空気のように、ふわっといらっしやって、席を勧めると、お掛けにはなりませんが「相談では無いんや。一緒に食べようと思うて。」と机の上にチョコレートの箱を出されました。

「かまへん、コンビニで買ったやつや、遠慮しんと。」ご自身もひとつ口にしておいて、私にも勧めてくださいました。

その数日後に救急入院され、数週間で安らかに旅立たれたとのことでした。

その時は、まさかそんなことになるなんて想像もできない穏やかな時間でした。私はちゃんと担当相談員のお役が果たせたでしょう

か？

台風の後で木から落ちてしまったメジロの雛を、毛布を敷いたダンボールに入れて、一生懸命介抱されていましたね。

優しい方でした。まったりとした時間を醸し出す名人でした。

ほんとうは、しんどいこと、おありだったでしょうに、その深いところまで寄り添うことが私にできたでしょうか？

周囲の方を思いやって、一生懸命ご自分の役割を果たそうとされていました。

その、あなたに私は一生懸命お役に立とうとしたけれど。

仕事上ではあっても、いただいた出会いの一つひとつに感謝の気持ちでいっぱいです。

どうぞ天国で安らかに

支援センター「くろくろ」

二〇二四年が、いい一年になりますように。

相談員補助 辻 本 啓 名

はじめまして、十一月より入職しました辻本と申します。前職は地域の精神科クリニックで医療事務をしながら、大学で心理の勉強をしていました。

精神科に勤務する以前は、もう八年前になります。が、糖尿病専門医が在籍する病院やクリニックで一型糖尿病や二型糖尿病でコントロール不良の患者さんの治療について、医療従事者の方々とあてもないころでもないと朝から晩まで走り回る毎日をごしていただきました。二十代、若かったなあと思います。それでも仕事が楽しくて仕方なかったのを覚えています。

「俺に死ぬというんかあ」と栄養士さんに怒鳴る患者さんの声をカーテン越しに聞いたこともありまして。そういった患者さんに向き合う先生の治療方針を通して「人に関わるといこと、それが治療であつても数値のコントロールだけじゃ足りないんだ。本人の思いとか、この人の人生とか生活とか幸せ全体をみていかなきゃいけないんだ。」ということを知り、多くのことを学びました。

そんな日々から、一旦現場を離れ子育て期間を経るのですが、もっと近い距離で支援がしたいと思うようになりまして。祖母がいのちの電話の相談員をしていたので、私も心理師を目指していたのですが、実習で西陣会に来させていただき福祉の仕事が好き！西陣会の皆様の雰囲気が好き！と

感じて、ご縁あつて入職させて頂きました。お恥ずかしいことに福祉の経験はまだゼロで、まだまだ分からないことばかりなのですが、たくさん勉強して新しいことをどんどん吸収していきたいと思っています。これから何卒よろしくお願いいたします。



イイ汗をかきました！（嘉楽区民運動会）



路地裏ステーションニュース

西陣児童館

思いをつなぐ子育て支援の輪

——この一年を振り返って——

非常勤 柴田祥子・上川美優

♡児童館では、出会ったおかあさんも子どもたちも、おひとりおひとりが大切な主人公。ここ一年の出会いと思いを、少しお伝えします。

はじめのいっぽ

「子育て支援の場へのはじめの一步を支えたい」という思いで、はじめたベビーマッサージ(以下ベビマ)が三年目になりました。コロナ禍での不安な子育ての中で、親子でリラククスしてあたたかなスキンシップを通して、実際に「よく寝てくれるようになりまし

た」とのおはなしをお聞きすると、とてもうれしそうです。三きょうだいのごろの子育てに追われるあるお母さんは、「このベビマは、

この子とだけ向き合える大事な時間。この時間が癒されるんです」とおっしゃられました。初産のお母さんが情報を調べて来てくださるの、とても緊張されることと思います。「よくぞ私たちの児童館に来てくださった!!」と感謝の気持ちでいっぱいです。出産した法人の職員が、ベビマに来てくれるのもうれしいです。職場復帰までの数回のこのひととき、親子でほっ

遊びの広場への思い

としていただき、復帰後も子育てを応援し支えていけたら、同僚としても本当にうれしいです。

す。走り回るのが楽しい幼児さんにとって遊戯室で過ごせるのは、とても喜んでいただけます。お母さんにとっては、ゆつくり職員とおしゃべりができる時間にもなり、プライベートなお話や、子育ての悩み、つぎの幼稚園保育園探しについてや、ほかのお母さん方がおられる中ではお話しにくい話題にも耳を傾けさせて

いただいています。お子さんの愛らしさや成長を喜びあい、お母さんをねぎらうひととき、「〇〇ちゃんのお母さん」だけではなく、「△△さん」としてのお姿やニーズをキャッチすることにもつながります。

みんなあつまれ!

笑ってはじめて月イチ企画

毎月第四木曜日は何が飛び出すかわからない、おまつりさわぎのTHE☆月イチ企画。ボランティアさんたちがつちりタッグを組み、踊って歌ってズッコケて、プログラムを行います。そこに来られた親子さんともとけあって、想像以上に盛り上がることや、逆に「シン——ン」となることも?あきれずにあたたかく笑っ



新作パネルシアター「どんな色がすき」

顔を見て、つながりあう

毎月末には、次月の「児童館だより」をはぐくみ室

や幼稚園、そのほかの子育て支援の場所へお届けに行きます。先方の職員さんと顔を見て、互いの近況報告や共通で来館される親子さんのお話をするのはとても大切です。それぞれの場が地域の安心できる親子の居場所のひとつとして、何かの時にはつないでいただく、頼りになる児童館、職員でありたいです。

むかし出会った

乳幼児さんが……

むかし出会った乳幼児さんが小学生になってお友達ちと遊びに来てくれる。以前来館されていたお母さんが、第二子さんや第三子さんをつれて「また来ました!」と笑顔で来てくださったったり、「今度は私がお手伝いできたらと思って」と来てくださる。「あの時、あんな風でしたよね」とお話できるのは、本当に児童館冥利に尽きます。これからも、ずっと子どもたちの成長を見届けていきたい、お母さんたちを応援したい。児童館に関わる全ての人達と共に子育て支援の輪を広げていきたいです。



パンダクラブさん(嘉楽学区の子育てサロン)と一緒にクリスマス



活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

10月

- 3日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 8日 嘉楽学区民体育祭
- 16日 月曜集会
- 19日 秋フェス会議
- 23日 安全衛生委員会
- 30日 産業医面談

11月

- 2日 交流学習サークル
- 7日 新入職員歓迎座談会
- 8日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 12日 施設見学会(きょうと福祉就活サポートプログラム)
- 13日 施設見学(IDEA Yチャレンジ)
- 14日 嘉楽わっしょ

12月

- 16日 ふくしのお仕事相談会
- 19日 西陣会秋フェス
- 21日 ステップアップ研修
- 27日 ①②委員会
- 30日 安全衛生委員会
- 30日 産業医面談
- 30日 月曜集会
- 30日 総務委員会
- 1日 虐待防止&身体拘束禁

【居宅サービス係】

10月

- 2日 北の勉強会
- 3日 サービス提供責任者会議
- 15日 居宅職員会議
- 15日 サイ・ロバート・マーチンさんと仲間たち
- 24日 交流会(居連協)
- 24日 居連協定例会

11月

- 19日 居宅職員会議
- 24日 サービス提供責任者会議

12月

- 8日 居連協・生連協合同開催「普通に死ぬ」京都のちの自立」京都上映会
- 17日 居宅職員会議
- 18日 北の勉強会
- 22日 サービス提供責任者会議

【デイセンターふらっと】

10月

- 8日 嘉楽学区民運動会・衣笠学区民運動会

- 4日 止マネージャー会議
- 5日 月曜集会クリスマス
- 7日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 7日 ステップアップ研修
- 19日 ①②委員会
- 19日 OJT担当職員座談会
- 22日 就職ガイダンス(京都精華大学)
- 25日 安全衛生委員会
- 25日 産業医面談

11月

- 6日 インフルエンザ予防接種(8日・10日)からくわっしょ
- 12日 ユニトリリーダー会議
- 20日 京都府虐待防止・権利擁護研修
- 22日 更新研修
- 16日 ユニトリリーダー会議
- 17日 レクリエーション研修
- 23日 近畿地区知的障害関係施設職員研修会

12月

- 1日 虐待防止・身体拘束禁
- 2日 止マネージャー会議
- 2日 デイ職員全体会議
- 18日 ユニトリリーダー会議
- 26日 ボーナス支給式

【西陣児童館】

10月

- 28日 出前児童館「ハロウィンパーティー」

11月

- 13日 不審者訓練(上京警察のご協力にて)
- 29日 京都市児童館第一ブ
- 5日まで ロック職員交換派遣研修(坂本) 12月

12月

- 2日 出前児童館「風と遊ぼう」
- 21日 月イチサーズデイ「クリスマスコンサート」
- 25日 クリスマス会

【きらリンク】

10月

- 6日 北部自立支援協議会運営会議
- 17日 北部自立支援協議会全体会議
- 24日 相談支援スキルアップ研修
- 25日 基幹センター会議
- 26日 基幹支援センター事業権利擁護連絡会

11月

- 7日 北部自立支援協議会
- 10日 児童部会医療的ケアネット
- 10日 基幹型支援センター研修事業北部圏域相談支援事業所座談会
- 17日 京都市基幹型支援センター研修普及啓発事業
- 20日 北部自立支援協議会
- 21日 児童養護自立支援連絡会
- 21日 北部自立支援協議会夜のNOB交流会
- 30日 障害支援区分審査会

12月

- 9日 京都府IT事業パソコン応用講座(10日)
- 16日 北部自立支援協議会
- 21日 京都府IT事業パソコン応用講座(10日)
- 21日 北部自立支援協議会

【にしじん】

10月

- 2日 相談支援専門員(3日)初任者研修講師派遣
- 4日 中部自立支援協議会事務局会議
- 12日 機能集約合議体
- 12日 相談支援専門員カフェ
- 19日 基幹支援センター会議
- 25日 中部自立支援協議会
- 27日 災害支援部会

11月

- 1日 京都市児童専門部会
- 10日 ひきこもり調整会議
- 14日 15支援センター会議
- 15日 上京ネット実務者会議
- 16日 中部自立支援協議会
- 22日 運営会議
- 22日 同志社大学講師派遣
- 30日 基幹支援センター会議
- 30日 中部自立支援協議会
- 30日 医療的ケア部会研修会

12月

- 4日 相談支援専門員(5日)初任者研修講師派遣
- 11日 京都市自立支援協議会
- 18日 京都市域リハビリテーション推進会議
- 21日 中部自立支援協議会
- 21日 運営会議
- 21日 相談支援専門員カフェ

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。

その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

座談会が行われました。2名の新入職員を迎えて色々な話をして交流することが出来ました。

◎11月7日、「きょうと福祉就活サポートプログラム」の見学受入をしました。

◎11月8日、福祉業界1DAYチャレンジ(見学)の受入をしました。

◎11月12日、嘉楽わっしょいが開催され職員とボランティアで参加させていただきました。焼き鳥と餃子の販売もさせていただきました。来場者がとても多く大変盛り上がった一日を過ごすことが出来ました。



◎10月28日、『西陣会なんちゃって職員食堂(秋編)』が開催され、きらリンク職員の箕浦さんの作った心と体によい料理をたくさん職員の味わいました。

◎11月2日、交流学習サークル活動を行いました。児童館職員坂本さんから児童厚生員基礎研修のご報告や遊びを通じた健全育成について話を聞き学ぶことが出来ました。

◎11月7日、新入職員歓迎

過去に行っていた「桜まつり」に代わる祭りとして試行的にですが職員一丸となって実施しました。当日は予想をはるかに超えるたくさんの方々に来場していただき盛況な祭りとなりました。本当にありがとうございます。

◎京都めいぶるワイズメンズクラブ様より秋フェスへの協賛金として4万円のご寄付をいただきました。また、秋フェス当日には焼きそば売り場を担当していたいただきました。いろいろな形でのお支えを本当にありがとうございます。

◎11月26日、京都めいぶるワイズメンズクラブ様にご招待いただき、今年も「京都YMCAインターナショナル・チャリティーラン」に参加させていただきました。数名のご利用者も職員で嵐山東公園を走りました。

◎11月16日、「福祉のお仕事相談会」がハートピア京都で開催され出展してきました。

◎11月19日、「西陣会秋フェス」を開催いたしました。

◎11月30日、華頂短期大学の「企業×学生との交流会」に参加させていただきました。

◎12月22日、京都精華大学の就職ガイダンスに参加

させていただきます。

◎救世軍京都小隊様より「クリスマスのお米を62キロいただきました。西陣会の各事業の利用者の皆さんでおいしくいただきます。あたたかなお支えを本当にありがとうございます。



お知らせ

毎年1月に開催していた、合同新年会は感染症対策の観点から中止することになりました。

月曜集会の今後の予定

1月22日、2月12日、26日、3月11日、25日です。19時からです。

みなさんのお越しをお待ちしています。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075) 451-5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

・法人本部

・京都市民福祉センター

・地域活動支援センター

・ふらっと

・地域生活支援事業

・レスパイトサービス

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

・西陣児童館

・京都市放課後等
デイサービス支援事業

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

・西陣会居宅サービス係
相談支援事業所 ぎげな

TEL (075) 441-7140
FAX (075) 441-1529

・デイセンターふらっと

TEL (075) 441-7140
FAX (075) 441-1529

・西陣会ホームとなり
ショートステイ ゆう

TEL (075) 461-1306
FAX (075) 441-1529

・西陣会ホームきたまち

TEL (075) 461-1355
FAX (075) 461-1356

・京都市中部障害者地域生活
支援センター にじん

TEL (075) 417-1600
FAX (075) 451-1369

・京都市北部障害者地域生活
支援センター きらリンク

TEL (075) 751-1006
FAX (075) 751-1007